

# ひろげたい、ユースワーク。

## 3カ国の青年代表と交流、学びました

青少年分野で活躍している3カ国の青年代表13人が、京都のユースワークの現状を学び、交流するため、さる2月14日に入洛。京都での現場訪問や情報交換をしました。この事業は、国際間の国家事業とした10年前から始めたもので、今回は、デンマーク、ドイツ、ニュージーランドの3カ国からの参加。青少年部門の青年グループが、セミナーやホームステイを体験しました。18日に開催されたセミナーでは、各国代表がお国事情を紹介し、理解を深め合いました。



## ニュージーランド

青少年が、自主的にリーダーシップをとれるような環境づくりをしています。

- ①安全…暴力のない環境、青少年が平等に参加できる安全な場所。
- ②尊重…自らの文化、信条の多様性を尊重、称賛する。
- ③参画…青少年に関係のある問題を議題に取り上げる。
- ④つながり…志を同じくする青少年をつなぐ。共有し学べるネットワーク上の場所の確保。
- ⑤技能…強み、才能、可能性を大切にする。

体験学習（野外教育や地域ボランティア）に参加してもらい、ライフスキル（生きる力）を身につけてもらっています。読み書き計算、栄養学やお金の使い方を学ぶ機会も提供しています。これらをもって、若者の可能性をひきだし、自分自身の役割を明確にしていくことが大切だと考えています。



## 参加協力した感想（BBS）

・評価プランのことや寄付金のことなど普段考えない視点についての意見を聞いたことが印象的で、自分の伝えたいことが伝わらないことも衝撃的でした。（立命館大学衣笠地区 BBS 会 辰己大貴）

・海の向こうにもBBSの活動があり、頑張っている人達が沢山いるのを実感しました。運営面（特にマネジメントや広報等）については学ぶことが多く、これからの団体運営に活かしていきたいと思っています。（中京西地区 BBS 会 大橋伸弘）

## 日本

若者が「ありたい自分」に近づくための協力者である私たち「ユースワーカー」の活動場所は、京都市内に7カ所ある青少年活動センターと地域がメインでしたが、学校（就労支援）や引きこもる若者の自宅もフィールドになってきました。「ユースワーカー」に特に必要な力は、関係構築力のほかに事務能力や事業企画力、マネジメント能力、専門知識の取得だと思っています。

京都市ユースサービス協会の挑戦として①資格づくり（大学と共同のユースワーカー養成専門コースと協会独自の資格取得コース）②実践から学ぶ環境として、事例研究会やコンサルテーションの機会に取り組んでいます。

このような機会は、私たちユースワーカーや京都で活動する青年にも大きな刺激となりました。私は、昨年度のコアリーダープログラムに参加し、日本各地で活躍する若者と一緒に、英国の現状や取組について学びました。共通の課題にふれ、改めて今後のユースワークの発展にいかしたいと思っています。（北青少年活動センター チーフユースワーカー 宮川知子）

## ドイツ

中間支援を行うためには、現場のユースワークよりも広範囲で全ての分野に精通することが要求され、特に財政的スキルとネットワークづくりのスキルが必要です。理想的な中間支援団体の職員は、「ロビーイングの背景に熟知している弁護士や広報の専門家」「資金集めと財政管理に詳しいビジネスマネージャーやエコノミスト」「コアスキルを習得している教育者やソーシャルワーカー」がふさわしいとされ、それぞれの不得意分野の研修が必要となっています。

プロとしてキャリアを築くうえで、スーパービジョンは必須です。スーパーバイザーは組織の外の人間が行うことで、どこに問題があるかを理解する助けとなります。燃え尽き症候群を防ぐためにも適量のやる気を維持することなどが大事だと考えています。



## デンマーク

青少年が抱える課題（犯罪、虐待や社会的・心理的問題など）に対して、ソーシャルワークを行っています。「ソーシャルワークとは、対象者との関係に基づくもの」というのが一般的な考え方で、「できないこと」よりも「できること」に重点を置きます。現場のソーシャルワーカーは、正式な教育を受けた人がより好まれますが、採用する際には、子どもや若者と関係を構築する能力と誠実さを重視しています。専門スタッフ（精神面）には、物事をトータルにとらえる能力や認知能力、話術を求めます。人材を育成するためには、コーチングやスタッフのスキルと能力の開発にブレがないことがあげられます。個人だけでなく、組織での学習も重要で、継続的に学び、知識を伸ばしていくことが大切です。



## プログラム 2011 京都府青少年コース

14日	11:41	京都到着
	14:00-16:00	京都府庁表敬訪問
	16:15-17:00	京都市長表敬訪問
	19:00-21:00	歓迎会（ハートンホテル京都）
15日	10:00-12:00	特定非営利活動法人 京都 ARU 訪問
	14:00-16:00	公益財団法人 京都地域創造基金訪問
16日	10:00-12:15	財団法人京都市ユースサービス協会訪問
	14:00-16:30	山科青少年活動センター訪問、京都 BBS 連盟代表と意見交換
17日	14:00-16:00	東山青少年活動センター 訪問
18日	9:30-16:15	地方セミナー国別発表（京都府中小企業会館）、分科会ホームステイ
19日	14:20-15:30	評価会（メルパルク京都）
	16:02	京都駅発